

第五期臨水左岸地區第五八軍擊滅戰

其一 戰鬥前ニ於テ彼我形勢ノ概要

一 敵第四軍ハ我が勇奮敢闘ニ依リ形而上下絶大ノ打撃ヲ受ケ其ノ主力ハ二十七日ヨリ三日間ニ亘リ崇仁ヲ連續通過西北方ニ退却セリ

レリ
第五八軍ハ二十六日部署ヲ變更セルモノ如キモ全ク守勢ニ陥

ニ師團ハ第四軍擊滅ノ目的ヲ完遂スヤ宜黄水ノ線ニ態心勢ヲ整理シ戦力ヲ充實シ逐次第五八軍ニ對シ攻勢ヲ準備ス大隊ニ日楓樹頭三日查溪四日花橋ニ前進シ攻勢發

1567

起準備ヲ完了ス

其二 戦闘ニ影響ヲ及スル氣象地形及住民地ノ状態

一 氣象

一 梅雨後ノ酷熱、戦闘行動ヲ困難ナラセタリ (七月五日)

二 豪雨時ノ夜間、暗黒咫尺ヲ辨セズ機動力ヲ救救セリ

(七月七、八日)

二 地形

一 秀吉埴南方ノ小流、川幅五米、兩岸断崖ヲナシ深キ泥底ニ

シテ徒涉容易ナラス

又、赤子街附近ノ地圖ハ現地ト相違シ地形判断困難ナリ
 三、住民地ノ状態

一、秀中埠ハ三方河ヲ繞シ要害ノ地ヲ占ム

又、秀才埠南方ノ楊家ハ掩蓋銃座ヲ以テ防備ヲ強化シアリ

其三、彼我ノ兵力交戦セシ敵ノ團隊號 編制裝備

素質戦法

一、交戦セシ敵ノ兵力及團隊號

一、起振山附近ノ戦闘

新編第十師第三十八團第一營ノ輕機ヲ有ス約三〇〇

2. 秀才埠附近ノ戦闘

新編第十一師第三十三團ノ輕機ヲ有ス約三〇。

3. 橋東附近ノ戦闘

新編第十一師第三十二團第二營ノ輕機ヲ有ス約一五。

4. 磨盤山附近ノ戦闘

新編第十一師軍士學生隊ノ輕機ヲ有ス約二〇。

ニ我が兵力

歩兵第六聯隊第三大隊(第三中隊欠)

同

通信班無線第二分隊

野砲兵第三聯隊第一中隊

同 第二中隊

三敵ノ編制裝備素質戰法

110D (瑞昌部隊) | 58Aニ屬ス

第六團 | 營 (三) | 連 | 第一排 (9)

第五團 | 迫撃砲連 (四門) | 機關銃連 (四挺) | 第二排 (〃)

第三〇團 | 第三排 (〃)

111D (太平部隊) | 58Aニ屬ス

第三團 | 營 (三) | 連 (三) | 第一排 (9)

第三二團 | 迫撃砲連 (三門) | 機關銃連 (三挺) | 第二排 (〃)

第三三團 | 第三排 (〃)

軍士學生隊、素質優秀ニシテ戰意猛烈ナリ

新編第十師及第十一師、編制裝備ニ迫撃砲機關銃ヲ有
スドモ戰場ニ携行スル輕機ヲ巧ニ使用シテ裝備ニ比シ輕快頑
強志抵抗ヲ實施セリ

其四 戰鬥經過關係部隊ノ動作及連絡施設ノ状態

七月五日 晴

日出 〇六二三
日没 二〇二七

月生 〇五七

月齡 二〇七

一 歩六作命甲第六五七號ニ基キ前衛ヨリ 〇三〇〇 出發 青石

橋一秀才埠道ヲ前進ス

1572
二〇六五〇 歩兵中隊ヲ以テ潘橋ノ敵數名ヲ驅逐シ 〇八三〇 灣

前ニ達スヤ羅坑北側高地ヨリ輕機ヲ有ス敵ノ射撃ヲ受ク
依テ獨斷之ヲ排除スニ決シ左記命令ヲ下達ス

廿六五作命第四八一號

前衛命令

七五〇八三〇前

一 起振山南麓ヲ羅坑北側ヲ經テ羊角峰南麓ニ至リテニ〇ノ敵兵ヲ認ム

ニ 前衛各坑ノ線ニ展開シテ當面ノ敵陣ヲ突破シ港上ニ進出セシム

重点ヲ本道ニ保持ス

三 第十三中隊右第一線起振山ノ敵ヲ攻撃スベシ

四 第十二中隊左第一線羊角峰ノ敵ヲ攻撃シテ港上ニ進出退路ヲ遮断スベシ

五 機關銃中隊ハ羅坑北側高地ニ逐次陣地ヲ变换シ先ヅ第十三中隊ニ續テ第十三中隊

ノ戦闘ニ協同ス

六 歩兵砲小隊ハ灣前羅坑北側ニ逐次陣地ヲ占領シ起振山ノ敵ヲ制壓スベシ

七 予ハ本道西側地區ヲ前進ス

8291

下達法 各隊長に達ス

前衛 司令官 服部少佐

第十一中隊ハ迅速ニ峯坑高地ニ展開シテ果敢ニ羅坑北側
高地ノ敵ヲ攻撃シ友軍砲火ヲ利用シテ〇九一〇之ヲ奪取セシモ
爾後起伏山ヨリノ猛射ト酷熱ヲ為攻撃遲滞ス

第十二中隊ハ羊角峰南方高地ニ展開セシモ峻峻ノ為多
時ヲ要セシト羊角峰高地ノ敵退却ノ兆アリシヲ以テ本道方
向ニ招致ス

機關銃中隊ハ先ツ羊角峰高地ノ敵ニ急襲火ヲ發揚シ
次ニ第十一中隊ノ攻撃ヲ協同ス

途中重信部隊ハ起振山羊角峰ノ陣地ヲ攻撃スベキ
命令ヲ受領ス

第九中隊ハ逸早シ大隊ニ復歸シ第十一中隊ニ連繫シテ
起振山ヲ攻撃シ友軍砲彈ニ膚接シテ一三〇之ヲ奪取ス
茲ニ於テ第九中隊及第十一中隊ニ急追ヲ命ジ一意港上
ニ突進ス時ニ羊角峰北方高地及一八四四高地ノ敵輕機
ハ谷地ヲ側射シテ猛威ヲ逞ウス 依テ機關銃歩兵砲ヲ以テ
之ヲ制壓シ一三二〇港上ニ集結ス

戦闘經過別紙要圖第十九参照

我が損害 戦死 兵三

射耗彈

- 三八式銃貫包一四五〇
- 八九式重擲榴彈 二二
- 九二式歩兵砲榴彈 四七
- 九二式重機普通貫包一八〇
- 抑収七九様貫包一〇二〇
- 信号彈(黄龍) 一

三是ヨリ先寺澤大尉挺進シ來リ秀才埠東側橋梁ヲ確保
 スト共ニ爾後橋東ヲ經テ樟樹鎮ニ追撃スベキ意圖ヲ傳
 達ス又飛行機ヨリ左記敵情ヲ知得ス



依テ第九中隊及第十一中隊ヲシテ本道兩側ヨリ一意突進
 ヲ企圖セシモ福主山及秀才埠ヨリノ猛射激シテ敵ノ抵抗頑強
 ナリ敵情ヲ偵察スルニ秀才埠南北ノ高地及福主山ニ掩蓋
 銃座アリテ既設陣地ニ據レルモノ如シ即チ先ヅ秀才埠ノ敵
 陣ヲ突破スベク之ガ攻撃準備中歩六作命甲第六五八號要
 旨ヲ受領シ直チ左記命令ヲ下達ス

歩六作命第四八三號

第三大隊命令

卷五二四五〇上

- 一 秀才埠南方及西方高地ニハ銃眼ノ有ル陣地アリテ輕機ヲ有ル約三〇〇ノ敵守備シアリ
(敵陣線)
 重突シテ左ニ保持シテ當面ノ敵ヲ攻撃ス
- 二 大隊(既屬只除如故第八中隊既屬セシ)ハ第一線トナリ重点ヲ左ニ保持シテ當面ノ敵陣ヲ
 突破シ鉢巻山ノ線ニ進出セヨス

1572

三 第九中隊、右第一線より港上西方部落より秀才埠南方高地へ敵ヲ突破シ秀才埠西側高地ニ進出スベシ

四 第十一中隊（機關銃一隊、島）ハ中第一線より港上南側高地より鉢巻山ノ敵ヲ攻撃スベシ

五 第十一中隊ハ左第一線より第十一中隊ノ左ニ展開シ鉢巻山ノ南方ニ進出スベシ

六 機關銃中隊ハ港上西方部落より逐次陣地ヲ左ニ変更シ第十一中隊ノ戦闘ニ協同スベシ

七 廿兵砲小隊ハ港上南側高地ニ陣地ヲ占領シ主トシテ第十一中隊ノ戦闘ニ協同スベシ

八 第八中隊ハ豫備隊トシテ第十一中隊ノ後方ヲ前進スベシ

九 攻撃前進ノ時概ハ一五三〇ト豫定スモ信號彈ヲ以テ示ス

可予第十一中隊ノ後方ヲ跟隨ス

大隊長 服部少佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セム

我が砲兵ノ効力射準備射撃ヲ待チ一五五〇攻撃ヲ開始ス
然レ砲兵ハ既ニ過大ノ彈藥ヲ消費セシカ爾後ノ協同充分ナ

8251

1579

ス敵火ハ益々熾烈ヲ加フ。斯ル間ヲ第一線部隊ハ遮ニ
無ニ前進スレド秀ギ埠南方ノ小流ハ深溝ヲ形成シ渡渉困
難ナリ。為ニ各隊ハ橋梁ヲ渡リテ一六三〇葉家附近ニ集中
ス。巴ハキニ至レリ。偶々我挾正面ニ收縮スルヤ楊家及茶胡峯
ノ敵ハ輕機數挺ヲ併列シテ猛射シ來リ。正面ノ水田敵掃
射ス。地帯トナリ。負傷者續出シテ爾後ニ前進ニ難ナリ。
茲ニ於テ南方ヨリ攻勢ヲ進捗セシメト豫備隊トシテ第八
中隊ヲ以テ一七三〇福主山ヲ攻勢セシム。然ルニ掩蓋ヲ有ス
ル福主山ノ敵ハ斜射側射ヲ以テ巧ニ猛射シ來リ。第八中
隊ノ攻撃亦時間ヲ要スニ至リ。

加ルニ熾烈ナル敵彈下大隊主力ヲ福主山方向ニ轉用スル
 晝間困難ナルヲ以テ夜間穿貫突破ヲ決心シ狀況ヲ電話
 ニ依リ 聯 隊長ニ具申ス 聯 隊長ハ我が企圖ヲ是
 認セシ薄暮攻撃ヲ決行スベク指導セシ依テ直チニ左記命
 令ヲ下達ス

廿六五作命第四八四號

第三 大隊 命令

七五 五三〇 表

一 敵情諸官目撃通

ニ 大隊〔本〕薄暮當面ヨリ敵火点ヲ奪取セシム

三 第九中隊ハ秀才埦西方高地ノ敵ヲ攻撃スベシ

四 第十中隊ハ茶胡谷右斜面ノ敵ヲ攻撃スベシ

五 第十大隊ハ茶胡谷敵ヲ攻撃スベシ

六 第八中隊ハ福主少敵ヲ攻撃スベシ

七 機關銃中隊ハ茶胡峯敵ニ對シ射撃ヲ準備スベシ

八 攻撃前進ノ時機ハ二〇二〇トシ二一〇〇迄ニ敵陣地ニ突入スベシ

九 野砲兵中隊ハ現在地附近ニ陣地ヲ占領シ茶胡峯敵ヲ制壓スベシ

一〇 爾余ハ出發準備ヲ整ヘ秀才埤ニ集結スベシ

二 予ハ暫ク現在地ニアリ

大隊長 服部少佐

下達法 要旨ヲ口達後命令受領者ヲ集メ口達筆記セム

二〇二〇 第十二中隊ハ幕幕ニ蔽ハレテ前進ヲ開始シ第十

中隊亦之ニ連繫ス然ルニ水田中ノ匍匐モ近接スルニ從ヒ

敵ノ發見スル處トナリ逐次火力ヲ増加シ來レリ

二〇三〇 頃我が砲兵ハ俄然茶胡峯ニ火力ヲ集中シ敵ヲ壓倒

ス然レドモ我ノ至近距離ニ近迫スルヤ敵火ハ愈々熾烈ヲ加
 ヘ凄壯タリ時ニ我が機關銃中隊亦射撃ヲ開始シ茶胡峯及
 其ノ北方臺地ニ熾烈ナル火力ヲ發揚シ之ガ制壓ニ努カム
 然レドモ秀才埠楊家及茶胡峯南方ヨリ敵火ハ間断ナク
 慘烈ヲ極ム斯カノ間ニ屈セズ第十二中隊ハ茶胡峯高地
 ニ突入シ紛戦格闘ノ後二一〇〇之ヲ奪取ス第十一中隊
 亦相次イテ茶胡峯北方臺地ノ敵ヲ驅逐シ之ヲ占領ス
 第九中隊ハ南方ニ稍迂迴シテ水田ヨリ楊家部落ニ突入シ
 接戦格闘暫時死傷續出スモ屈セズ同部落ヲ掃蕩シテ
 部隊ヲ整理シ更ニ西進ス

次ヲ第八中隊ハ二一〇〇過福主山ヲ第九中隊ハ二二二〇
秀才埠東方高地ヲ占領ス

四斯クテ部隊ヲ整理シ穿貫突進ヲ準備中 聯 隊長挺
進シ來ル秀才埠四周ノ敵陣掃蕩ヲ命ゼル

依テ第九中隊ヲ以テ南山ヲ第十一中隊ヲ以テ一六二一高地
地ヲ第八中隊ヲ以テ福主山東方寺院ヲ掃蕩セシム

七月六日 晴後雨 日出。空三月出。七月齡ニセ

一敵ハ我が猛攻ニ戰慄シテ一時潰乱状態ニ陥リシモノヲ如ク

第十一中隊ハ〇一三〇堅固ナルベギ一六二一高地ヲ難ク奪

取シ第八中隊亦〇二〇〇所命ノ地点ヲ掃蕩ス

1584

1583

然レドモ第九中隊正面ニ相當ノ敵アリテ所々ニ接戦格闘ヲ
惹起シ〇三〇〇南山ヲ占領ス

戦闘經過別紙要圖第二十参照

我が損害

戦死 将校一 兵二

射耗弾

戦傷 兵三
三八式銃實包 二〇

九二式重機普通實包 一五〇

同 曳光實包 四五〇

八九式重擲榴彈 九

信號弾(綠吊星) 一

敵遺棄死体

九五

鹵獲品

輕機一 小銃四 保彈板九

小銃彈一五〇〇 手榴彈五五

俘虜兵七

ニ茲ニ於テ大隊ハ南山正面ノ敵ヲ突破スベク攻撃準備中〇五
三〇頃正面ノ敵退却ノ兆アルヲ察知シ直チニ攻撃ヲ断行
シテ〇六二〇清豊橋ニ向ヒ追撃ヲ部署ス
三〇九三〇王坊西側隘路ニ進出スルヤ西走スル約一五〇ノ敵ニ
遭遇ス依テ直チニ左記命令ヲ下達ス

歩六五作命第四七號

追撃隊命令

王坊西側隘路

- 9891
- 一 一〇〇ヲ下ラサル敵ハ横田ヨリ西方ニ潰上中ナリ
 - ニ 追撃隊、當面ノ敵ヲ捕獲殲滅セントス
 - 三 六兵中隊ハ南方ヨリ敵ノ退路ヲ遮断スベシ
 - 四 機関銃中隊ハ本道ニ沿フ地區ヲ前進シ敵ヲ索メテ射撃スベシ

五 第九中隊ハ本道ニ沿フ地區ヲ前進シ敵ヲ捕扱スベシ

六 野砲兵中隊ハ先ヅ五坊西側高地ニ陣地ヲ占領シテ第一線ノ戦闘ニ協同シ

得ル如ク準備スベシ

七 予ハ本道ニ沿フ地區ヲ前進ス

追撃隊長 服部少佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達ス

機關銃中隊ハ果敢ニ前進シテ火力ヲ以テ之ヲ抑留シ歩

兵ハ脚力追撃ヲ断行シテ一〇三〇橋東ニ進出ス

戦闘經過別紙要圖第二十一參照

射耗 彈 三八式銃實包 一〇〇

九二式重機普通實包 八一〇

敵ノ遺棄死体 一五

鹵獲品 小銃實包一〇〇 手榴彈一五

俘 虜 下士官一 兵五

四爾後追撃ヲ續行シ一部ヲ以テ清豊橋ヲ占領スルト共ニ主
カシ其北方中塘附近ニ集結ス

七月七日 曇 日没ニ〇七 月出〇二五八 月齡ニ三七

一三〇〇集結地出發反轉中竹原支隊救援ニ命ニ接シ一三
〇〇曹村出發汎濫セル水田地帯ヲ涉破シテ香子街ニ向ヒ

前進ス

暗黒咫尺ヲ辨セザル生地ニ人語ラズ馬前マス

旅團ト無線連絡ニ努ムルモ受信シ難シ

2891
7月8日 晴 日出〇六三四

一〇六〇〇 杏子街通過、何胡墟ニ向ヒ前進中。八〇〇 蔡山南

方鞍部ニ進出スルヤ約二〇〇ノ敵ニ遭遇ス

依テ直ニ左記命令ヲ下達ス

世六五作命第四九三號

第三大隊 命令

杏子街西、方四軒。

- 一 兵力未詳ノ敵ハ西進中ナリ
- 二 大隊ハ現在線ニ展開シテ當面ノ敵ヲ殲滅セントス
- 三 尖兵中隊ハ左第一線トナリ、水道ニ沿テ北方地區ヲ攻撃前進スベシ
- 四 第十一中隊ハ中第一線トナリ、本道ニ沿テ南方地區ヲ攻撃前進スベシ
- 五 第十二中隊ハ右第一線トナリ、第十一中隊ノ右ニ連繫シ、西南方ヨリ敵ヲ包圍スベシ
- 六 機關銃中隊ハ主トシテ第十一中隊ノ戦闘ニ協同スベシ
- 七 野砲兵中隊ハ蔡山北側ニ據ル敵ヲ索メテ制壓スベシ
- 八 予ハ水道ニ沿テ地區ヲ前進ス

1538

大隊長 服部少佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ下達筆記セム

ニ第九中隊ハ敵ニ遭遇スルヤ機先ヲ制シテ其先頭十数名ニ突入シ次イテ逐次ノ抵抗ヲ排撃シツテ九〇塘下ヲ占領シ死傷續出スモ猶屈セズ〇九五〇塘下東方鞍部ニ突進ス

第十一中隊ハ周在西北方高地ヲ敵ニ先ゼシテ神速ニ砲兵ノ射撃ヲ利用シテ同高地ノ敵ヲ驅逐シ爾後猛烈ニ敵火ヲ冒シテ木道ニ沿ヒ攻撃力行ス

6891
第十二中隊ハ迅速ニ追及シ來リタルモ敵亦速カニ鷹盤山北麓ニ據リテ爲爾後ノ攻撃進捗セズ

一〇〇〇頃旅團ヨリ左記命令ヲ受領ス

左記

一 荷胡墟附近ノ敵ハ退却セルモノ如シ

ニ 貴隊ハ適宜橋東ニ歸還スベシ

(塘部隊ノ行動開始ハ九月朝ノ豫定)

然レドモ敵ハ極メテ頑強ニシテ抗戰意識旺盛尤爲反轉困難ナ

ルミナラズ皇軍ノ威武宣場上更ニ痛撃ヲ與フル必要ナリト

信ジ左記命令ヲ下達シ周在東方高地ヲ攻撃ス

歩六五作命第四八四號

第三大隊命令

第八二四下

一 當面ノ敵ハ磨盤山北麓ニ據ル共一部ハ遠ク大平ニ後退セリ

ニ 第九中隊ハ大平近ク近接セルモ磨盤山北側ヨリノ側斜ヲ受テ前進意ノ如クナラス

二大隊、攻撃ヲ再興シテ磨盤山北麓ノ敵ヲ殲滅セリトス

三 第三中隊、磨盤山北麓右半分(現地指示)ノ敵ヲ攻撃スベシ

四 第四中隊、磨盤山北麓左半分(竹林右高地)ノ敵ヲ攻撃スベシ

五 機關銃中隊、主トシテ第三中隊ノ戦闘ニ協同スベシ

六 野砲兵中隊、大平附近ノ敵ヲ制壓スベシ

七 爾余、現在地ニ於テ爾後ノ行動ヲ準備スベシ

ハ 予ハ塘下ニアリ

大隊長 服部 少佐

下達法 命令受領者ニ口達ス

第十一中隊、機關銃及砲兵ト密接ナル協同ノ下ニ敵ヲ猛射

ヲ意トセズ死力ヲ盡シテ周在東方高地(竹林)ヲ奪取シ更ニ轉

ジテ一四〇〇一五高地ヲ占領シ敵ヲ荷胡墟方向ニ壓迫ス

第十二中隊亦磨盤山西麓及周在東側ヲ奪取シ敵ヲ磨盤

山谷地ニ壓迫ス

戦闘經過別紙要圖第二十二參照

我が損害 戦死 下士官一 馬匹二

戦傷 兵三

射耗 彈 三八式銃實包 二六九。

九二式重機普通實包二四〇。

山砲 榴 彈 一八

八九式重擲榴彈 四一

押收七九耗實包 三〇。

山砲 火 彈 五

敵遺棄死体 一三

鹵 獲 品 押收小銃二 保彈板一 小銃彈一五〇

俘 虜 兵三

依テ一四〇〇反轉スニ決シ左記命令ヲ下達ス

廿六五作命第四九五號

第三大隊命令

七八一四〇

一 敵磨盤山南方ニ埋伏セルヲ如シ

二 大隊ハ廣本ノ名下ノ橋東道ヲ橋東ニ向テ反轉セントス

三 第九中隊ハ尖兵中隊トナリ一五三〇現在地出發大隊ノ進路ヲ橋東ニ向テ前進スベシ

四 第十中隊ハ概テ現在線ヲ確保シテ大隊ノ反轉ヲ收容シテ後本隊ノ後方ヲ第十二中隊

ト交互ニ逐次陣地ヲ占領シテ大隊ノ通過ヲ掩護スベシ

五 第十三中隊ハ現在線ヲ確保シテ大隊特ニ第十中隊ノ反轉ヲ掩護シテ後第十三中隊

ト交互ニ陣地ヲ占領シテ大隊ノ反轉ヲ掩護スベシ

六 繳關銃中隊ハ余力ヲ以テ第十中隊及第十二中隊ノ收容ニ協同スベシ

七 爾余ハ本隊トナリ左記行軍序列、從ヒ尖兵中隊ノ後方ヲ續行スベシ

左記

李

1593

彈藥班
 步兵砲小隊
 野砲中隊
 機關銃中隊ノ馱馬
 衛生隊
 第三中隊
 救護班
 火隊本部

ハ予ハ本隊ノ後尾ヲ前進ス

大隊長 服部ツノ佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

7091
 轉ヲ目撃スルモ追攝シ得ズ
 輕機七挺ヲ以テ射撃シ來リシノミ
 サシモ勇猛果敢ナリシ敵モ我が攻撃ニ遭ヒ消極化シ我が反

大隊ハ一五三。戰場ヲ離脱シテ王座ニ反轉シ、竹原支隊ニ
 遭遇シテ連絡シ任務ヲ完遂スヲ得タリ

其五 戦闘後ニ於テ彼我形勢ノ概要

茲ニ於テ大隊、塘部隊ニ追及スベク酷熱ヲ冒シテ強行軍
 ヲ敢行シ、九日、伍村ニ十日下巻ニ達シ塘部隊ノ直轄ヲ解カ
 レテ重信部隊ニ復歸シ、十一日臨川ニ集結ス

第六期 臨川附近ノ警備